

別紙 3

大阪府 ドクターヘリ 出動基準及びキーワード

ドクターヘリは、以下のいずれかの項目に該当する場合に出動することとし、消防機関が119番通報時あるいは救急隊出動中、又は救急現場に到着した時点あるいは救護活動中で、キーワードを参考にして要請の判断を行い、ドクターヘリ出動を要請する。

- 生命の危険が切迫しているか、その可能性が疑われ、緊急処置をしなければ、生命に危険が生じる場合
- 生命に危険はないが、緊急処置をしなければ、身体に障害を生じる恐れがあるなど社会復帰に大きな影響がある場合
- 現場での緊急診断に医師を必要とする場合
- 上記の3項目に該当しない場合であっても、状態が悪く、不安定な、急性患者であって、高度の医療を必要とするため適切な搬送先医療機関が二次医療圏内に存在しない、車による搬送では危険と考えられるなどの場合で、ドクターヘリにより所定の搬送先病院（救命救急センター及び災害拠点病院等）へ短時間で搬送することが必要と判断される場合

(1) 119番通報時あるいは救急隊出動中にドクターヘリ要請を判断するための
キーワード

想定事例	関連キーワード
外傷	【自動車事故】 ・ 閉じ込められている ・ 横転している ・ 車外放出された ・ 車体が大きく変形している ・ 歩行者もしくは自転車が自動車に跳ね飛ばされた又は引き倒された 【オートバイ事故】 ・ 法定速度以上（かなりのスピード）で衝突した ・ 運転手がオートバイから放り出された 【転落・墜落】 ・ 3階以上の高さから落ちた ・ 山間部での滑落 【窒息事故】 ・ 溺れている ・ 窒息している ・ 生き埋めになっている 【傷害事件】 ・ 撃たれた ・ 刺された ・ 殴られて意識が悪い 【その他】 ・ 外傷で意識が悪い ・ 体が機械に挟まれた
呼吸循環不全	・ 40歳以上の胸痛又は背部痛 ・ 呼吸困難 ・ 息が苦しい ・ 息ができない
心肺停止	・ 人が倒れている ・ 人が突然倒れた ・ 呼びかけても反応がない ・ 意識がない ・ 呼吸をしていない ・ 呼吸が変だ ・ 脈が触れない ・ 様子がおかしい ・ 痙攣している ・ 手足が急に動かなくなった
複数の傷病者の発生	・ 複数の人が倒れている ・ 複数の人が閉じ込められている ・ 複数の人が受傷した ・ 複数の人の意識がない
その他	・ ドクターカー（ドクターカー適用症例であるが出動中・対応不可）

(2) 救急隊現着時あるいは救護活動中にドクターヘリ要請を判断するための

キーワード

以下にあげる項目を参考にして、医師の早期診断と治療が必要か否かという観点から総合的に判断して、ドクターヘリを要請する。

想定事例	関連キーワード
外傷	・全身観察の異常 ・初期評価の異常 ・広範囲（全身の1/3以上）熱傷、気道熱傷、外傷を伴う熱傷（爆発による受傷など） ・意識障害を伴う電撃症
呼吸循環不全	・病院搬送までに気道、呼吸（低酸素）、循環が保たれず、心停止の危険がある傷病者 ・気管挿管、輸液、薬剤投与が必要となる傷病者 （例）喘息重責発作、急性心不全、急性心筋梗塞、消化管出血（吐血）など ・アナフィラキシーショック
心肺停止	・救急隊現着後にCPAに陥った傷病者（救急隊による目撃ありCPA） ・CPAであっても現場で心拍が再開した傷病者 * 救急隊現着時CPA（目撃あり、なしに関わらず）は現着後に要請は行わない。 しかし、初期波形がVF/VTもしくはPEAの場合はこの限りにはない。
その他	・緊急手術を要する可能性の高い疾患が想定される傷病者 （急性腹症、頭蓋内疾患など） ・突然発症の四肢麻痺（血栓溶解療法の適応） ・重症患者が複数名いる場合 ・現場から早期の医師の治療が必要と判断される場合 ・オンラインMCにて医師からドクターヘリ要請を指示された場合 ・ドクターカー（ドクターカー適用症例であるが出勤中・対応不可）

(参考)

「消防庁救急ヘリコプターの出動基準ガイドライン」に基づき作成した症例等一覧

(1) 現場状況

①自動車事故

- イ 自動車からの放出
- ロ 同乗者の死亡
- ハ 自動車の横転
- ニ 車が概ね50cm以上つぶれた事故
- ホ 客室が概ね30cm以上つぶれた事故
- ヘ 歩行者もしくは自転車が、自動車にはねとばされ、又はひき倒された事故

②オートバイ事故

- イ 時速35 k m程度以上で衝突した事故
- ロ ライダーがオートバイから放り出された事故

③転落事故

- イ 3階以上の高さからの転落
- ロ 山間部での滑落

④窒息事故

- イ 溺水
- ロ 生き埋め

⑤列車衝突事故

⑥航空機墜落事故

⑦傷害事件（撃たれた事件、刺された事件）

⑧重症が疑われる中毒事件（急性薬物中毒、一酸化炭素中毒）

(2) 患者状況

①バイタルサイン

- イ 目を開けさせる（覚醒させる）ためには、大声で呼びかけつつ、痛み刺激（つねる）を与えることを繰り返す必要がある（ジャパンコーマスケールで30以上）

- ロ 脈拍が弱くてかすかししか触れない、全く脈がないこと
- ハ 呼吸が弱くて止まりそうであること、遠く、浅い呼吸をしていること、呼吸停止
- ニ 呼吸障害、呼吸がだんだん苦しくなってきたこと
- ホ 目撃のあるCPA、停止後心拍再開したもの

②外傷

- イ 頭部、頸部、軀幹又は、肘もしくは膝関節より近位の四肢の外傷性出血
- ロ 2カ所以上の四肢変形又は四肢（手指、足趾を含む。）の切断
- ハ 麻痺を伴う肢の外傷
- ニ 広範囲の熱傷（体のおおむね1/3を超えるやけど、気道熱傷）
- ホ 意識障害を伴う電撃症（雷や電線事故で意識がない）
- ヘ 意識障害を伴う外傷

③疾病

- イ けいれん発作
- ロ 不穏状態
- ハ 新たな四肢麻痺の出現
- ニ 強い痛みの訴え（頭痛、胸痛、腹痛）

④その他

- イ アナフィラキシー、毒蛇による咬傷、毒虫やクラゲ等によるショック状態
- ロ 減圧症による加圧治療が必要な者など特殊病態